【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公開番号】特開2005-15461(P2005-15461A)
【公開日】平成17年1月20日(2005.1.20)
【年通号数】公開・登録公報2005-003
【出願番号】特願2003-376833(P2003-376833)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/192　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/216　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/277　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/343　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/381　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/40　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/404　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/426　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/437　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4965　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　13/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　15/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/28　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　59/66　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　59/68　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　59/90　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　69/734　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　69/738　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　233/75　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ　209/12　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ　239/34　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ　277/64　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ　295/12　(2006.01)

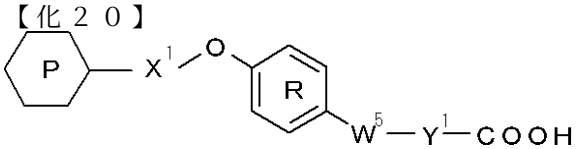
C07D 307/80 (2006.01)
C07D 333/54 (2006.01)
C07D 333/56 (2006.01)
C07D 333/62 (2006.01)
C07D 333/78 (2006.01)
C07D 471/04 (2006.01)
G01N 33/15 (2006.01)
G01N 33/50 (2006.01)
C07D 277/20 (2006.01)
C07D 277/42 (2006.01)
C12Q 1/02 (2006.01)

【FI】

A61K 31/192 ZNA
A61K 31/216
A61K 31/277
A61K 31/343
A61K 31/381
A61K 31/40
A61K 31/404
A61K 31/426
A61K 31/437
A61K 31/4965
A61P 1/00
A61P 3/00
A61P 3/04
A61P 3/06
A61P 3/08
A61P 3/10
A61P 3/12
A61P 7/02
A61P 7/10
A61P 9/10 101
A61P 9/12
A61P 13/12
A61P 15/08
A61P 17/00
A61P 19/02
A61P 19/10
A61P 25/00
A61P 25/28
A61P 27/02
A61P 35/00
A61P 43/00 105
A61P 43/00 123
C07C 59/66
C07C 59/68
C07C 59/90
C07C 69/734 Z
C07C 69/738 Z
C07C 233/75

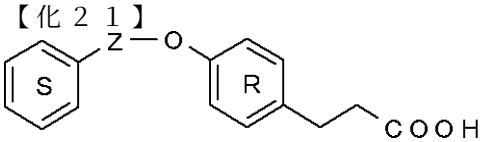
Ｃ０７Ｄ 209/12		
Ｃ０７Ｄ 239/34		
Ｃ０７Ｄ 277/64		
Ｃ０７Ｄ 295/12		Ｚ
Ｃ０７Ｄ 307/80		
Ｃ０７Ｄ 333/54		
Ｃ０７Ｄ 333/56		
Ｃ０７Ｄ 333/62		
Ｃ０７Ｄ 333/78		
Ｃ０７Ｄ 471/04	１０８	Ｘ
Ｇ０１Ｎ 33/15		Ｚ
Ｇ０１Ｎ 33/50		Ｚ
Ｃ０７Ｄ 277/42		
Ｃ１２Ｑ 1/02		
Ｃ０７Ｍ 7:00		

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月26日(2006.10.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
さらに、本発明は、
〔３９〕式
【化２０】



（Ｉａ）

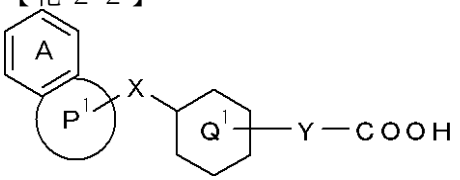
（式中、環Ｐは置換基を有していてもよい芳香環を、環Ｒは置換基を有していてもよいフェニレン基を、X^1は結合手または置換基を有していてもよいC_{1-6}アルキレン基を、W^5は結合手、－Ｏ－、－Ｎ（R^6）－、－ＣＯ－Ｎ（R^7）－または－Ｓ－を、R^6およびR^7はそれぞれ水素原子またはC_{1-6}アルキル基を、Y^1は置換基を有していてもよいC_{1-6}アルキレン基を示す。）で表わされる化合物もしくはその塩またはそのプロドラッグを含有する上記〔２〕記載の剤、
〔４０〕式
【化２１】



（Ｉｂ）

（式中、環Ｓは置換基を有していてもよいベンゼン環を、環Ｒは置換基を有していてもよいフェニレン基を、Ｚは４個の結合手から形成される鎖を示す。）で表わされる化合物もしくはその塩またはそのプロドラッグを含有する上記〔２〕記載の剤、
〔４１〕式

【化２２】

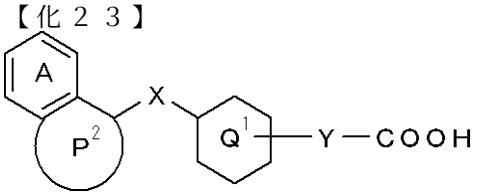


(II)

〔式中、環Ａは置換基を有していてもよいベンゼン環を、環Ｐ^{1}は置換基を有していてもよい環を、環Ｑ^{1}は－Ｙ－ＣＯＯＨ以外にさらに置換基を有していてもよい芳香環を示し、ＸおよびＹはそれぞれスペーサーを示し、－Ｙ－ＣＯＯＨは環Ｑ^{1}上の任意の位置に置換している。〕で表わされる化合物もしくはその塩またはそのプロドラッグを含有する上記〔２〕記載の剤、

〔４２〕式

【化２３】

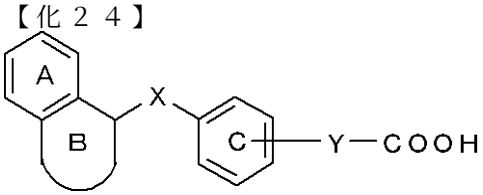


(IIa)

〔式中、環Ｐ^{2}は置換基を有していてもよい環を、その他の各記号は上記〔３０〕と同意義を示す。〕で表わされる化合物もしくはその塩またはそのプロドラッグを含有する上記〔４１〕記載の剤、

〔４３〕式

【化２４】



(IIb)

〔式中、環Ａは置換基を有していてもよいベンゼン環を、環Ｂは置換基を有していてもよい５ないし７員の環を、環Ｃは－Ｙ－ＣＯＯＨ基以外にさらに置換基を有していてもよいベンゼン環を、ＸおよびＹはそれぞれスペーサーを示し、－Ｙ－ＣＯＯＨは環Ｃ上の任意の位置に置換している。〕で表わされる化合物もしくはその塩またはそのプロドラッグを含有する上記〔４１〕記載の剤、

〔４４〕環Ｐが置換基を有していてもよいベンゼン環または置換基を有していてもよい塩基性を持たない芳香族複素環である上記〔４〕、〔５〕または〔３９〕記載の剤、

〔４５〕環Ｐが置換基を有していてもよいベンゼン環である上記〔４〕、〔５〕または〔３９〕記載の剤、

〔４６〕環Ｐがメタ位に置換基を有していてもよいベンゼン環である上記〔４〕、〔５〕または〔３９〕記載の剤、

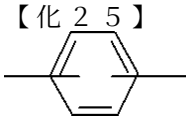
〔４７〕環Ｐの置換基が芳香環を有する置換基である上記〔４〕、〔５〕または〔３９〕記載の剤、

〔４８〕芳香環を有する置換基が、式　Ｒ^{1}－Ｅ－（Ｒ^{1}は置換基を有していてもよい芳香環基を、Ｅは結合手またはスペーサーを示す）で表わされる置換基である上記〔４７〕記載の剤、

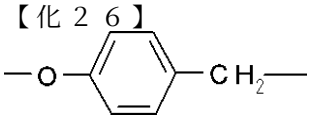
〔４９〕－Ｅ－が結合手、－Ｏ－、－ＣＨ$_{2}$－Ｏ－、－ＣＯ－、－ＣＯＮＨ－、－Ｎ（Ｒ^{2}）－ＣＨ$_{2}$－（Ｒ^{2}は水素原子またはＣ$_{1-6}$アルキル基を示す）、－Ｓ－ＣＨ$_{2}$－または－ＣＨ＝ＣＨ－である上記〔４８〕記載の剤、

〔５０〕－Ｅ－が結合手、－Ｏ－または－ＣＨ$_2$－Ｏ－である上記〔４８〕記載の剤、
〔５１〕Ｒ^{1}が(i)ハロゲン原子、ニトロ、カルボキシ、ハロゲン化されていてもよいＣ$_{1-6}$アルキル、ヒドロキシ－Ｃ$_{1-6}$アルキル、カルボキシ－Ｃ$_{1-6}$アルキル－カルボニルアミノ－Ｃ$_{1-6}$アルキル、ハロゲン化されていてもよいＣ$_{1-6}$アルコキシ、Ｃ$_{6-14}$アリール、Ｃ$_{6-14}$アリールオキシおよびＣ$_{7-16}$アラルキルオキシから成る群から選ばれる置換基を有していてもよいフェニル基または(ii)ハロゲン化されていてもよいＣ$_{1-6}$アルキル、Ｃ$_{6-14}$アリールおよびＣ$_{6-14}$アリール－Ｃ$_{2-6}$アルケニルから選ばれる置換基を有していてもよい、炭素原子以外に窒素原子、酸素原子および硫黄原子から選ばれるヘテロ原子を１ないし４個含む５ないし１４員の複素環基で、Ｅが結合手または－（ＣＨ$_2$）ｍ^1－Ｗ^1－（ＣＨ$_2$）ｍ^2－（ｍ^{1}およびｍ^{2}はそれぞれ０ないし３の整数を、Ｗ^{1}は－Ｏ－、－Ｎ（Ｒ^2）－、－ＣＯ－または－ＣＯ－Ｎ（Ｒ^3）－を、Ｒ^{2}およびＲ^{3}はそれぞれ水素原子またはＣ$_{1-6}$アルキル基を示す）で表わされるスペーサーである上記〔４８〕記載の剤、
〔５２〕環Ｑが置換基を有していてもよいベンゼン環である上記〔５〕記載の剤、
〔５３〕Ｘで示されるスペーサーが
(i)－Ｘ^1－Ｗ^2－Ｘ^2－（Ｘ^{1}およびＸ^{2}はそれぞれ結合手または置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を、Ｗ^{2}は－Ｏ－、－Ｎ（Ｒ^4）－、－ＣＯ－Ｎ（Ｒ^5）－または－Ｓ－を、Ｒ^{4}およびＲ^{5}はそれぞれ水素原子またはＣ$_{1-6}$アルキル基を示す）、または
(ii)－Ｗ^3－Ｘ^3－Ｗ^4－（Ｘ^{3}は置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を、Ｗ^{3}およびＷ^{4}はそれぞれ－Ｏ－、－Ｎ（Ｒ^4）－、－ＣＯ－Ｎ（Ｒ^5）－または－Ｓ－を、Ｒ^{4}およびＲ^{5}はそれぞれ水素原子またはＣ$_{1-6}$アルキル基を示す）である上記〔４〕、〔５〕、〔４１〕、〔４２〕または〔４３〕記載の剤、
〔５４〕Ｘで示されるスペーサーが－Ｘ^1－Ｏ－Ｘ^2－（Ｘ^{1}およびＸ^{2}はそれぞれ結合手または置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を示す）である上記〔４〕、〔５〕、〔４１〕、〔４２〕または〔４３〕記載の剤、
〔５５〕Ｘで示されるスペーサーが－Ｘ^1－Ｏ－（Ｘ^{1}は結合手または置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を示す）である上記〔４〕、〔５〕、〔４１〕、〔４２〕または〔４３〕記載の剤、
〔５６〕Ｘ^{1}が(i)結合手または(ii)Ｃ$_{1-6}$アルキルおよびＣ$_{6-14}$アリールから選ばれる置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基である上記〔５５〕記載の剤、
〔５７〕Ｘで示されるスペーサーが
(i)結合手、
(ii)－Ｘ^1－Ｏ－（Ｘ^{1}は結合手または置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を示す）、
(iii)－Ｎ（Ｒ^4）－Ｘ^3－Ｏ－（Ｘ^{3}は置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を、Ｒ^{4}はＣ$_{1-6}$アルキル基を示す）、
(iv)－Ｓ－Ｘ^3－Ｏ－（Ｘ^{3}は置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を示す）、
(v)－Ｎ（Ｒ^4）－Ｘ^3－（Ｘ^{3}は置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を、Ｒ^{4}は水素原子またはＣ$_{1-6}$アルキル基を示す）、
(vi)－ＣＯ－Ｎ（Ｒ^5）－（Ｒ^{5}は水素原子またはＣ$_{1-6}$アルキル基を示す）、
(vii)－Ｘ^3－Ｓ－（Ｘ^{3}は置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を示す）、または
(viii)－Ｓ－Ｘ^3－Ｓ－（Ｘ^{3}は置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を示す）である上記〔４〕、〔５〕、〔４１〕、〔４２〕または〔４３〕記載の剤、
〔５８〕Ｙが－Ｗ^5－Ｙ^1－（Ｙ^{1}は置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を、Ｗ^{5}は結合手、－Ｏ－、－Ｎ（Ｒ^6）－、－ＣＯ－Ｎ（Ｒ^7）－または－Ｓ－を、Ｒ^{6}およびＲ^{7}はそれぞれ水素原子またはＣ$_{1-6}$アルキル基を示す）である上記〔４〕、〔５〕、〔４１〕、〔４２〕または〔４３〕記載の剤、

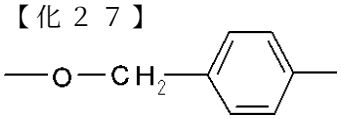
〔５９〕Ｙが置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基である上記〔４〕、〔５〕、〔４１〕、〔４２〕または〔４３〕記載の剤、
〔６０〕Ｙが置換基を有していてもよいエチレン基である上記〔４〕、〔５〕、〔４１〕、〔４２〕または〔４３〕記載の剤、
〔６１〕Ｙが－Ｏ－Ｙ^{1}－（Ｙ^{1}は置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を示す）である上記〔４〕、〔５〕、〔４１〕、〔４２〕または〔４３〕記載の剤、
〔６２〕－Ｙ－ＣＯＯＨが環Ｑ、環Ｑ^{1}または環Ｃのパラ位に置換している上記〔４〕、〔５〕、〔４１〕、〔４２〕または〔４３〕記載の剤、
〔６３〕Ｚが
（１）－Ｃ（Ｒ^{8}）（Ｒ$^{8'}$）－、－Ｏ－、－ＣＯ－、－Ｎ（Ｒ$^{8''}$）－（Ｒ^{8}、Ｒ$^{8'}$およびＲ$^{8''}$はそれぞれ水素原子またはＣ$_{1-6}$アルキル基を示す）および－Ｓ－から選ばれる４つの基から形成される鎖、または
（２）
【化２５】



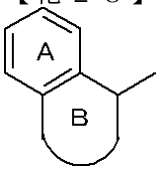
と、－Ｃ（Ｒ^{8}）（Ｒ$^{8'}$）－、－Ｏ－、－ＣＯ－、－Ｎ（Ｒ$^{8''}$）－（Ｒ^{8}、Ｒ$^{8'}$およびＲ$^{8''}$はそれぞれ水素原子またはＣ$_{1-6}$アルキル基を示す）および－Ｓ－から選ばれる２つの基から形成される鎖である上記〔４０〕記載の剤、
〔６４〕Ｚが
（１）－（ＣＨ$_{2}$）$_{4}$－、
（２）－Ｏ－（ＣＨ$_{2}$）$_{3}$－、
（３）
【化２６】



、または
（４）
【化２７】

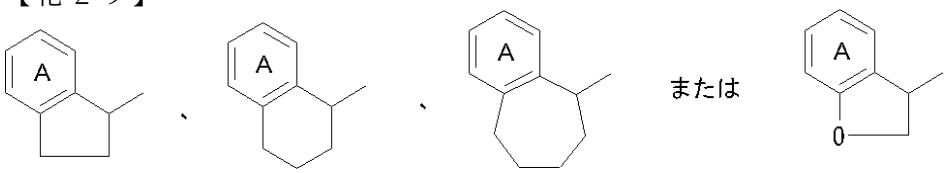


である上記〔４０〕記載の剤、
〔６５〕Ｂ環が置換基を有していてもよく、炭素原子以外に、窒素原子、酸素原子及び硫黄原子から選ばれる１ないし３個のヘテロ原子を含んでいてもよい５ないし７員の環を示す上記〔４３〕記載の剤、
〔６６〕部分構造式
【化２８】

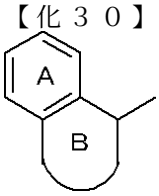


が

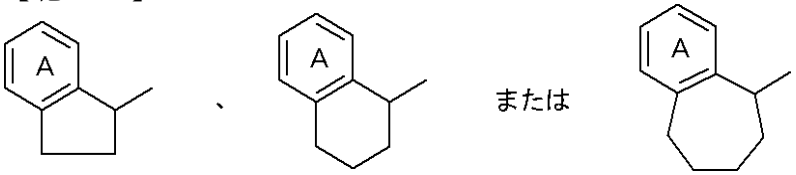
【化２９】



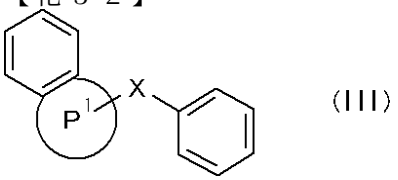
である上記〔４３〕記載の剤、
〔６７〕部分構造式
【化３０】



が
【化３１】

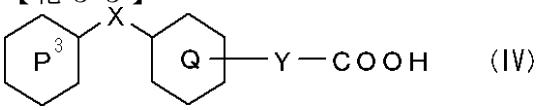


である上記〔４３〕記載の剤、
〔６８〕Ｘで示されるスペーサーが置換基を有していてもよいメチレン基、－Ｏ－または－Ｓ－で、Ｙで示されるスペーサーが置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基、－Ｎ（Ｒ^{6}）－Ｙ^{1}－（Ｒ^{6}は水素原子またはＣ$_{1-6}$アルキル基を、Ｙ^{1}は置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を示す）、－Ｏ－Ｙ^{1}－（Ｙ^{1}は置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を示す）または－Ｓ－Ｙ^{1}－（Ｙ^{1}は置換基を有していてもよいＣ$_{1-6}$アルキレン基を示す）である上記〔４３〕記載の剤、
〔６９〕式
【化３２】



(III)

〔式中、Ｘはスペーサーを、環Ｐ^{1}は置換基を有していてもよい環を示す。〕で表わされる骨格を有するカルボン酸またはその誘導体を含有する上記［１］記載の剤、
〔７０〕式
【化３３】



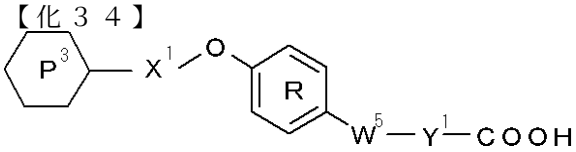
(IV)

〔式中、環Ｐ^{3}はベンゼン環を有する置換基を有する芳香環を、環Ｑは－Ｙ－ＣＯＯＨ以外にさらに置換基を有していてもよい芳香環を、ＸおよびＹはそれぞれスペーサーを、－Ｙ－ＣＯＯＨは環Ｑ上の任意の位置に置換している。〕で表わされる化合物もしくはその

塩またはそのプロドラッグ（ただし、(i)２－エトキシ－４－［［２－［（５－メチル－２－フェニル－４－オキサゾリル）メトキシ］フェニル］メトキシ］ベンゼンプロパン酸、(ii)２－エトキシ－４－［［３－［（５－メチル－２－フェニル－４－オキサゾリル）メトキシ］フェニル］メトキシ］ベンゼンプロパン酸、(iii)２－エトキシ－４－［［４－［（５－メチル－２－フェニル－４－オキサゾリル）メトキシ］フェニル］メトキシ］ベンゼンプロパン酸、(iv)４－［［４－［（５－メチル－２－フェニル－４－オキサゾリル）メトキシ］フェニル］メトキシ］ベンゼンプロパン酸を除く）を含有する上記〔２〕記載の剤、

〔７１〕式

【化３４】



(IVa)

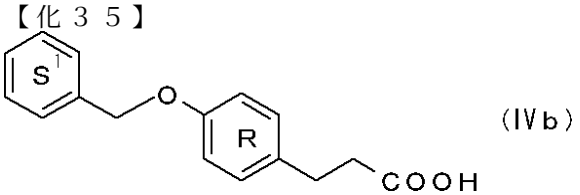
（式中、環P^3はベンゼン環を有する置換基を有する芳香環を、環Ｒは置換基を有していてもよいフェニレン基を、X^1は結合手または置換基を有していてもよいC_{1-6}アルキレン基を、W^5は結合手、－Ｏ－、－Ｎ（R^6）－、－ＣＯ－Ｎ（R^7）－または－Ｓ－を、R^6およびR^7はそれぞれ水素原子またはC_{1-6}アルキル基を、Y^1は置換基を有していてもよいC_{1-6}アルキレン基を示す。）で表わされる化合物もしくはその塩またはそのプロドラッグを含有する上記〔２〕記載の剤、

〔７２〕X^1が置換基を有していてもよいC_{1-6}アルキレン基で、W^5が結合手で、Y^1が置換基を有していてもよいC_{1-6}アルキレン基である上記〔７１〕記載の剤、

〔７３〕X^1が置換基を有していてもよいメチレン基で、W^5が結合手で、Y^1が置換基を有していてもよいエチレン基である上記〔７１〕記載の剤、

〔７４〕式

【化３５】



(IVb)

（式中、環S^1はベンゼン環を有する置換基を有するベンゼン環を、環Ｒは置換基を有していてもよいフェニレン基を示す。）で表わされる上記〔７０〕記載の剤、

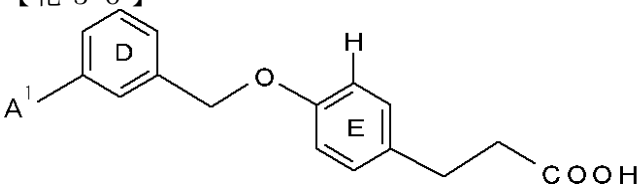
〔７５〕ベンゼン環を有する置換基が、式：$R^{11}-E^2-$（R^{11}は置換基をそれぞれ有していてもよいフェニル基、インダニル基またはナフチル基を、E^2は結合手またはスペーサーを示す）で表わされる置換基である上記〔７０〕～〔７４〕記載の剤、

〔７６〕$-E^2-$が結合手、－Ｏ－、$-CH_2-O-$、－ＣＯ－、－ＣＯＮＨ－、$-N(CH_3)CH_2-$、$-S-CH_2-$または－Ｃ＝Ｃ－、好ましくは結合手、－Ｏ－または$-CH_2-O-$である上記〔７５〕記載の剤、

〔７７〕R^{11}がハロゲン原子、ニトロ、カルボキシ、ハロゲン化されていてもよいC_{1-6}アルキル、ヒドロキシ－C_{1-6}アルキル、カルボキシ－C_{1-6}アルキル－カルボニルアミノ－C_{1-6}アルキル、ハロゲン化されていてもよいC_{1-6}アルコキシ、C_{6-14}アリール、C_{6-14}アリールオキシおよびC_{7-16}アラルキルオキシから成る群から選ばれる置換基を有していてもよいフェニル基である上記〔７５〕記載の剤、

〔７８〕式

【化３６】



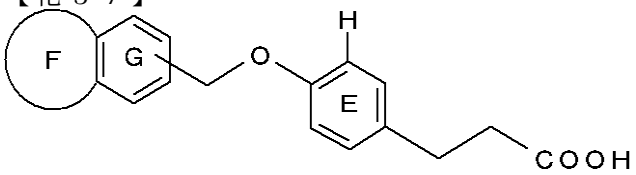
（A）

〔式中、A^1は置換基（ただし、水素原子および塩素原子を除く）を、環ＤはA^1以外にさらに置換基（ただし、ニトロ基およびヒドロキシ基を除く）を有していてもよいベンゼン環を、環Ｅは置換基を有していてもよいフェニレン基を示す。〕で表わされる化合物もしくはその塩またはそのプロドラッグ（ただし、２－エトキシ－４－［［３－［（５－メチル－２－フェニル－４－オキサゾリル）メトキシ］フェニル］メトキシ］ベンゼンプロパン酸を除く）を含有する上記〔２〕記載の剤、

〔７９〕A^1が臭素原子である上記〔７８〕記載の剤、

〔８０〕式

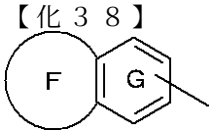
【化３７】



（B）

〔式中、環Ｆは置換基を有していてもよい環を、環Ｇは置換基を有していてもよいベンゼン環を、環Ｅは置換基を有していてもよいフェニレン基を示す。ただし、部分構造式

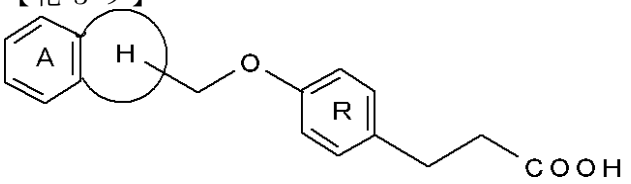
【化３８】



は無置換のナフチル基、無置換の１Ｈ－インダゾリル基および置換基を有していてもよいキノリル基でない。〕で表わされる化合物もしくはその塩またはそのプロドラッグを含有する上記〔２〕記載の剤、

〔８１〕式

【化３９】

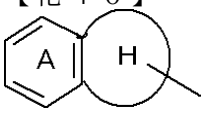


（C）

〔式中、環Ａは置換基を有していてもよいベンゼン環を、環Ｈは置換基を有していてもよい５員環を、環Ｒは置換基を有していてもよいフェニレン基を示す。〕で表わされる化合物もしくはその塩またはそのプロドラッグ（ただし、3,5-ジブロモ-4-[(5-クロロベンゾ[b]チオフェン-3-イル)メトキシ]ベンゼンプロパン酸、4-(1H-ベンゾトリアゾール-1-イルメトキシ)ベンゼンプロパン酸および4-(1H-インドール-3-イルメトキシ)ベンゼンプロパン酸を除く）を含有する上記〔２〕記載の剤、

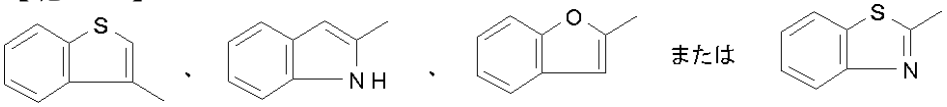
〔８２〕部分構造式

【化４０】



が、ハロゲン原子およびハロゲン化されていてもよいＣ$_{1-6}$アルキル基から選ばれる置換基をそれぞれ有していてもよい、

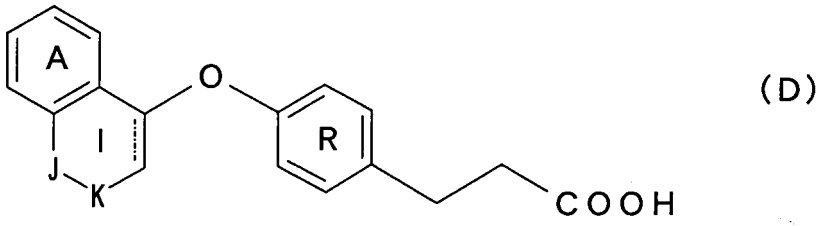
【化４１】



である上記〔８１〕記載の剤、

〔８３〕式

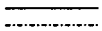
【化４２】



(D)

〔式中、環Ａは置換基を有していてもよいベンゼン環を、Ｊは－Ｏ－、－Ｓ－、－ＣＨ$_2$－または－ＮＲ^{12}－（Ｒ^{12}は水素原子またはＣ$_{1-6}$アルキル基を示す）を、Ｋは結合手またはＣ$_{1-3}$アルキレン基を、

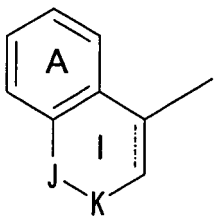
【化４３】



は単結合または二重結合を、環Ｒは置換基を有していてもよいフェニレン基を示し、環Ｉは置換基を有していてもよい。〕で表わされる化合物もしくはその塩またはそのプロドラッグを含有する上記〔２〕記載の剤、

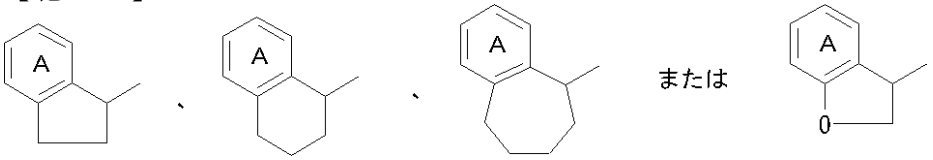
〔８４〕部分構造式

【化４４】



が

【化４５】



で、環Ａの置換基が(i)ハロゲン原子、(ii)C_{1-6}アルキル基、(iii)C_{1-6}アルコキシ基、(iv)ハロゲン原子およびC_{1-6}アルキルから選ばれる置換基を有していてもよいC_{6-14}アリール基、(v)C_{6-14}アリールオキシ基または(vi)C_{7-15}アラルキルオキシ基で、環Ｒの置換基がハロゲン原子である上記〔８３〕記載の剤、および〔８５〕上記〔１０〕、〔１３〕、〔２４〕または〔２８〕記載の化合物もしくはその塩またはそのプロドラッグを含有する上記〔１〕記載の剤を提供する。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】

これら「低級アルキル基」、「低級アルケニル」、「低級アルキニル」、「低級アルコキシ」、「低級アルキルチオ」、「低級アルキル－カルボニル」、「低級アルキル－カルボニルアミノ」、「低級アルコキシ－カルボニルアミノ」、「低級アルキルスルホニルアミノ」、「低級アルキル－カルボニルオキシ」、「低級アルコキシ－カルボニルオキシ」、「モノ－低級アルキル－カルバモイルオキシ」および「ジ－低級アルキル－カルバモイルオキシ」は、例えばハロゲン原子（例、フッ素原子、塩素原子、臭素原子、ヨウ素原子）；ヒドロキシ；アミノ；炭素原子以外に窒素原子、硫黄原子及び酸素原子から選ばれる１又は２種、１ないし４個のヘテロ原子を含む５ないし７員複素環基（例、フリル、ピリジル、チエニル等）（該複素環基はハロゲン原子、ヒドロキシ、アミノ、ハロゲン化されていてもよい低級（C_{1-6}）アルキル、モノ－又はジ－低級（C_{1-6}）アルキルアミノ、モノ－又はジ－C_{6-14}アリールアミノ、C_{3-8}シクロアルキル、低級（C_{1-6}）アルコキシ、低級（C_{1-6}）アルコキシ－カルボニル、低級（C_{1-6}）アルキルチオ、低級（C_{1-6}）アルキルスルフィニル、低級（C_{1-6}）アルキルスルホニル、上記したエステル化されていてもよいカルボキシル、カルバモイル、チオカルバモイル、モノ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル、ジ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル、モノ－又はジ－C_{6-14}アリール－カルバモイルなどで置換されていてもよい）；モノ－又はジ－低級（C_{1-6}）アルキルアミノ；モノ－又はジ－C_{6-14}アリールアミノ；C_{3-8}シクロアルキル；ハロゲン化されていてもよい低級（C_{1-6}）アルコキシ；低級（C_{1-6}）アルコキシ－カルボニル；低級（C_{1-6}）アルキルチオ；低級（C_{1-6}）アルキルスルフィニル；低級（C_{1-6}）アルキルスルホニル；上記したエステル化されていてもよいカルボキシル；カルバモイル；チオカルバモイル；モノ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル（例、メチルカルバモイル、エチルカルバモイル等）；ジ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル（例、ジメチルカルバモイル、ジエチルカルバモイル、エチルメチルカルバモイル等）；モノ－又はジ－C_{6-14}アリール－カルバモイル（例、フェニルカルバモイル、１－ナフチルカルバモイル、２－ナフチルカルバモイル等）；炭素原子以外に窒素原子、硫黄原子及び酸素原子から選ばれる１又は２種、１ないし４個のヘテロ原子を含むモノ－又はジ－５ないし７員複素環カルバモイル（例、２－ピリジルカルバモイル、３－ピリジルカルバモイル、４－ピリジルカルバモイル、２－チエニルカルバモイル、３－チエニルカルバモイル等）；カルボキシで置換されていてもよいC_{1-6}アルキル－カルボニルアミノ（例、アセチルアミノ、プロピオニルアミノ）；などから選ばれる１ないし５個の置換基をそれぞれ置換可能な位置に有していてもよい。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】

これら「C_{3-8}シクロアルキル」、「C_{3-8}シクロアルキル－カルボニル」、「C_{3-8}シクロアルキル－カルボニルアミノ」、「炭素原子以外に窒素原子、硫黄原子及び酸素原子から選ばれる１又は２種、１ないし４個のヘテロ原子を含む５ないし７員複素環カルボニル」、「C_{6-14}アリールオキシ」、「C_{7-16}アラルキルオキシ」、「C_{6-14}アリールチオ」、「C_{7-16}アラルキルチオ」、「C_{6-14}アリール－カルボニル」、「C_{7-16}アラルキル－カルボニル」、「C_{6-14}アリール－カルボニルアミノ」、「C_{6-14}アリール－カルボニルオキシ」、「モノ－又はジ－C_{6-14}アリール－カルバモイルオキシ」、「C_{6-14}アリールスルホニル」、「C_{6-14}アリールスルフィニル」、「C_{6-14}アリールスルホニルアミノ」および「芳香族複素環オキシ」は、例えばハロゲン原子（例、フッ素原子、塩素原子、臭素原子、ヨウ素原子）；ヒドロキシ；アミノ；上記した置換されていてもよい低級アルキル；上記した置換されていてもよい低級アルケニル；上記した置換されていてもよい低級アルキニル；C_{6-14}アリール（該C_{6-14}アリールはハロゲン原子、ヒドロキシ、アミノ、ハロゲン化されていてもよい低級（C_{1-6}）アルキル、モノ－又はジ－低級（C_{1-6}）アルキルアミノ、モノ－又はジ－C_{6-14}アリールアミノ、C_{3-8}シクロアルキル、低級（C_{1-6}）アルコキシ、低級（C_{1-6}）アルコキシ－カルボニル、低級（C_{1-6}）アルキルチオ、低級（C_{1-6}）アルキルスルフィニル、低級（C_{1-6}）アルキルスルホニル、上記したエステル化されていてもよいカルボキシル、カルバモイル、チオカルバモイル、モノ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル、ジ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル、モノ－又はジ－C_{6-14}アリール－カルバモイルなどで置換されていてもよい）；C_{6-14}アリールオキシ（該C_{6-14}アリールオキシはハロゲン原子、ヒドロキシ、アミノ、ハロゲン化されていてもよい低級（C_{1-6}）アルキル、モノ－又はジ－低級（C_{1-6}）アルキルアミノ、モノ－又はジ－C_{6-14}アリールアミノ、C_{3-8}シクロアルキル、低級（C_{1-6}）アルコキシ、低級（C_{1-6}）アルコキシ－カルボニル、低級（C_{1-6}）アルキルチオ、低級（C_{1-6}）アルキルスルフィニル、低級（C_{1-6}）アルキルスルホニル、上記したエステル化されていてもよいカルボキシル、カルバモイル、チオカルバモイル、モノ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル、ジ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル、モノ－又はジ－C_{6-14}アリール－カルバモイルなどで置換されていてもよい）；C_{7-16}アラルキルオキシ（該C_{7-16}アラルキルオキシはハロゲン原子、ヒドロキシ、アミノ、ハロゲン化されていてもよい低級（C_{1-6}）アルキル、モノ－又はジ－低級（C_{1-6}）アルキルアミノ、モノ－又はジ－C_{6-14}アリールアミノ、C_{3-8}シクロアルキル、低級（C_{1-6}）アルコキシ、低級（C_{1-6}）アルコキシ－カルボニル、低級（C_{1-6}）アルキルチオ、低級（C_{1-6}）アルキルスルフィニル、低級（C_{1-6}）アルキルスルホニル、上記したエステル化されていてもよいカルボキシル、カルバモイル、チオカルバモイル、モノ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル、ジ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル、モノ－又はジ－C_{6-14}アリール－カルバモイルなどで置換されていてもよい）；炭素原子以外に窒素原子、硫黄原子及び酸素原子から選ばれる１又は２種、１ないし４個のヘテロ原子を含む５ないし７員複素環基（例、フリル、ピリジル、チエニル等）（該複素環基はハロゲン原子、ヒドロキシ、アミノ、モノ－又はジ－低級（C_{1-6}）アルキルアミノ、モノ－又はジ－C_{6-14}アリールアミノ、C_{3-8}シクロアルキル、低級（C_{1-6}）アルコキシ、低級（C_{1-6}）アルコキシ－カルボニル、低級（C_{1-6}）アルキルチオ、低級（C_{1-6}）アルキルスルフィニル、低級（C_{1-6}）アルキルスルホニル、上記したエステル化されていてもよいカルボキシル、カルバモイル、チオカルバモイル、モノ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル、ジ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル、モノ－又はジ－C_{6-14}アリール－カルバモイルなどで置換されていてもよい）；モノ－又はジ－低級（C_{1-6}）アルキルアミノ；モノ－又はジ－C_{6-14}アリールアミノ；C_{3-8}シクロアルキル；上記した置換されていてもよい低級（C_{1-6}）アルコキシ；低級（C_{1-6}）アルコキシ－カルボニル；低級（C_{1-6}）アルキルチオ；低級（C_{1-6}）アルキルスルフィニル；低級（C_{1-6}）アルキルスルホニル；上記したエステ

ル化されていてもよいカルボキシル；カルバモイル；チオカルバモイル；モノ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル（例、メチルカルバモイル、エチルカルバモイル等）；ジ－低級（C_{1-6}）アルキル－カルバモイル（例、ジメチルカルバモイル、ジエチルカルバモイル、エチルメチルカルバモイル等）；モノ－又はジ－C_{6-14}アリール－カルバモイル（例、フェニルカルバモイル、１－ナフチルカルバモイル、２－ナフチルカルバモイル等）；炭素原子以外に窒素原子、硫黄原子及び酸素原子から選ばれる１又は２種、１ないし４個のヘテロ原子を含むモノ－又はジ－５ないし７員複素環カルバモイル（例、２－ピリジルカルバモイル、３－ピリジルカルバモイル、４－ピリジルカルバモイル、２－チエニルカルバモイル、３－チエニルカルバモイル等）などから選ばれる１ないし５個の置換基をそれぞれ置換可能な位置に有していてもよい。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１９０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１９０】
参考例１１５　4-[(5-ブロモ-2-クロロフェニル)メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチル
　参考例１と同様の方法を用いて、3-ブロモ-2-クロロベンジルアルコールから表題化合物を得た。収率 54%。
油状。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ2.61 (2H, t, J=8.1 Hz), 2.91 (2H, t, J=8.1 Hz), 3.69 (3H, s), 5.09 (2H, s), 6.91 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.14 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.24-7.27 (1H, m), 7.38 (1H, dd, J=8.5 Hz, 2.3 Hz), 7.73 (1H, d, J=2.3 Hz)。
参考例１１６　4-[(5-ブロモ-2-クロロフェニル)メトキシ]ベンゼンプロパン酸
　参考例４と同様の方法を用いて、4-[(5-ブロモ-2-クロロフェニル)メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチルから表題化合物を得た。収率 66%。
融点 120.0-120.5 ℃ (酢酸エチル－ヘキサンから再結晶)。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ2.66 (2H, t, J=7.8 Hz), 2.92 (2H, t, J=7.8 Hz), 5.09 (2H, s), 6.92 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.16 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.24-7.27 (1H, m), 7.38 (1H, dd, J=8.5 Hz, 2.3 Hz), 7.73 (1H, d, J=2.3 Hz)。
参考例１１７　4-[(3-ブロモ-4-クロロフェニル)メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチル
　参考例１と同様の方法を用いて、3-ブロモ-4-クロロベンジルアルコールから表題化合物を得た。収率 65%。
油状。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ2.60 (2H, t, J=7.6 Hz), 2.89 (2H, t, J=7.6 Hz), 3.66 (3H, s), 5.04 (2H, s), 6.85-6.89 (2H, m), 7.10-7.13 (2H, m), 7.35 (3H, s)。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１９１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１９１】
参考例１１８　4-[(3-ブロモ-4-クロロフェニル)メトキシ]ベンゼンプロパン酸
　参考例４と同様の方法を用いて、4-[(3-ブロモ-4-クロロフェニル)メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチルから表題化合物を得た。
融点 156-158 ℃ (酢酸エチル－ヘキサンから再結晶)。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ2.65 (2H, t, J=7.9 Hz), 2.90 (2H, t, J=7.9 Hz), 5.00 (2H, s), 6.88 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.13 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.35 (3H, s)。
参考例１１９　4-[[3-[5-(トリフルオロメチル)-2-ピリジニル]フェニル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチル

参考例６１と同様の方法を用いて、2-クロロ-5-(トリフルオロメチル)ピリジンから表題化合物を得た。収率 41%。
油状。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ2.61 (2H, t, J=8.0 Hz), 2.90 (2H, t, J=8.0 Hz), 3.66 (3H, s), 5.14 (2H, s), 6.93 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.13 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.50-7.60 (2H, m), 7.86 (1H, d, J=8.3 Hz), 7.97-8.01 (2H, m), 8.11 (1H, br s), 8.95 (1H, br s)。
参考例１２０　4-[[3-[5-(トリフルオロメチル)-2-ピリジニル]フェニル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸
参考例４と同様の方法を用いて、4-[[3-[5-(トリフルオロメチル)-2-ピリジニル]フェニル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチルから表題化合物を得た。収率 32%。
融点 155-156 ℃ (酢酸エチル－ヘキサンから再結晶)。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ2.64 (2H, t, J=7.7 Hz), 2.90 (2H, t, J=7.7 Hz), 5.12 (2H, s), 6.92 (2H, d, J=8.4 Hz), 7.13 (2H, d, J=8.4 Hz), 7.49-7.54 (2H, m), 7.85 (1H, d, J=8.3 Hz), 7.90-8.00 (2H, m), 8.10 (1H, s), 8.95 (1H, s)。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１９３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１９３】
参考例１２４　4-[[3-(2-ピリジニルオキシ)フェニル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸
参考例１と同様の方法を用いて、4-ヒドロキシベンゼンプロパン酸メチルと 3-(2-ピリジニルオキシ)ベンゼンメタノールから 4-[[3-(2-ピリジニルオキシ)フェニル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチルを得た。収率 77%。さらに、参考例４と同様の方法を用いて、4-[[3-(2-ピリジニルオキシ)フェニル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチルから表題化合物を得た。収率 55%。
融点 146-147 ℃ (酢酸エチル－ヘキサンから再結晶)。
^{1}H NMR ($CDCl_3$+DMSO-d_6) δ2.57 (2H, t, J=7.5 Hz), 2.89 (2H, t, J=7.5 Hz), 5.05 (2H, s), 6.86-6.92 (3H, m), 6.99-7.14 (4H, m), 7.21-7.26 (2H, m), 7.40 (1H, t, J=7.8 Hz), 7.67-7.72 (1H, m), 8.19 (1H, d, J=4.3 Hz)。
参考例１２５　4-[[4-(ブロモメチル)フェニル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチル
α,α'-ジブロモ-p-キシレン (11 g、40 mmol)、4-ヒドロキシベンゼンプロパン酸メチル (1.7 g、10 mmol)、炭酸カリウム (1.6 g、12 mmol) をアセトン (200 mL) に溶解し、8 時間加熱還流した。反応液を冷却後、反応液に水を加え酢酸エチルとテトラヒドロフランで抽出した。抽出液を水洗、乾燥後濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (酢酸エチル／ヘキサン=18:1) で精製し、表題化合物 (0.78 g、収率 21%) を白色粉末として得た。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ2.60 (2H, t, J=8.0 Hz), 2.89 (2H, t, J=8.0 Hz), 3.66 (3H, s), 4.50 (2H, s), 5.03 (2H, s), 6.86-6.91 (2H, m), 7.11 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.40 (4H, m)。
参考例１２６　3-ブロモ-4-ヒドロキシベンゼンプロパン酸メチル
4-ヒドロキシベンゼンプロパン酸メチル (1.0 g、5.6 mmol) の酢酸 (10 mL) 溶液に酢酸ナトリウム (0.46 g、6.1 mmol) を加え、さらに臭素 (0.89 g、5.6 mmol) を反応液が発熱しないように水浴で冷却しながら滴下した。混合物を室温で 30 分間撹拌した後水を加え、酢酸エチルで抽出した。抽出液を水洗した後、減圧濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン／酢酸エチル=9:1) で精製し、表題化合物 (0.68 g、収率 47%) を得た。
油状。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ2.59 (2H, t, J=7.5 Hz), 2.86 (2H, t, J=7.5 Hz), 3.67 (3H, s), 5.45 (1H, s), 6.93 (1H, d, J=8.3 Hz), 7.04 (1H, dd, J=1.9 Hz, 8.3 Hz), 7.30 (1H,

d, J=1.9 Hz)。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２３４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２３４】
実施例１１５　4-(2-ベンゾチアゾリルメトキシ)ベンゼンプロパン酸メチル
　実施例１０５と同様の方法を用いて、4-ヒドロキシベンゼンプロパン酸メチルと2-ベンゾチアゾールメタノールから表題化合物を得た。収率 91%。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ 2.59 (2H, t, J=7.5 Hz), 2.90 (2H, t, J=7.5 Hz), 3.66 (3H, s), 5.56 (2H, s), 6.96 (2H, d, J=8.7 Hz), 7.13 (2H, d, J=8.7 Hz), 7.37-7.53 (2H, m), 7.89 (1H, d, J=8.0 Hz), 8.03 (1H, d, J=8.0 Hz)。
実施例１１６　4-(2-ベンゾチアゾリルメトキシ)ベンゼンプロパン酸
　実施例１０６と同様の方法を用いて、4-(2-ベンゾチアゾリルメトキシ)ベンゼンプロパン酸メチルから表題化合物を得た。収率 93%。
融点 158-159 ℃ (酢酸エチル－ジイソプロピルエーテルから再結晶)。
^{1}H NMR ($DMSO\text{-}d_6$) δ 2.48 (2H, t, J=7.5 Hz), 2.75 (2H, t, J=7.5 Hz), 5.56 (2H, s), 7.01 (2H, d, J=6.8 Hz), 7.16 (2H, d, J=6.8 Hz), 7.43-7.57 (2H, m), 8.01 (1H, d, J=7.7 Hz), 8.11 (1H, d, J=7.7 Hz), 12.01 (1H, br s)。
実施例１１７　4-[(1-メチル-1H-インドール-2-イル)メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチル
　実施例１０５と同様の方法を用いて、4-ヒドロキシベンゼンプロパン酸メチルと 1-メチル-2-インドールメタノールから表題化合物を得た。収率 28%。
融点 157-158 ℃ (酢酸エチル－ジイソプロピルエーテルから再結晶)。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ 2.60 (2H, t, J=7.5 Hz), 2.90 (2H, t, J=7.5 Hz), 3.67 (3H, s), 3.80 (3H, s), 5.16 (2H, s), 6.58 (1H, s), 6.93 (2H, d, J=8.6 Hz), 7.07-7.15 (2H, m), 7.21-7.25 (2H, m), 7.31-7.34 (1H, m), 7.59 (1H, d, J=7.9 Hz)。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２６２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２６２】
実施例１９８　4-[[3'-(ヒドロキシメチル)-[1,1'-ビフェニル]-3-イル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸
　参考例４と同様の方法を用いて、4-[[3'-(ヒドロキシメチル)-[1,1'-ビフェニル]-3-イル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチルから表題化合物を得た。収率 88%。
融点 99-100 ℃ (酢酸エチル－ヘキサンから再結晶)。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ2.64 (2H, t, J=7.6 Hz), 2.90 (2H, t, J=7.6 Hz), 4.76 (2H, s), 5.10 (2H, s), 6.92 (2H, d, J=8.5 Hz), 7.13 (2H, d, J=8.5 Hz), 7.33-7.47 (4H, m), 7.51-7.58 (3H, m), 7.64 (1H, s)。
実施例１９９　4-[[3'-[[(3-カルボキシ-1-オキソプロピル)アミノ]メチル]-[1,1'-ビフェニル]-3-イル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸
　参考例１と同様の方法を用いて、4-[[3'-(ヒドロキシメチル)-[1,1'-ビフェニル]-3-イル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチルと 2,5-ピロリジンジオンから4-[[3'-[(2,5-ジオキソ-1-ピロリジニル)メチル]-[1,1'-ビフェニル]-3-イル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチルを得た。さらに、参考例４と同様の方法を用いて、4-[[3'-[(2,5-ジオキソ-1-ピロリジニル)メチル]-[1,1'-ビフェニル]-3-イル]メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチルから表題化合物を得た。4-[[3'-(ヒドロキシメチル)-[1,1'-ビフェニル]-3-イル]メトキシ]ベ

ンゼンプロパン酸メチルからの収率 62%。
融点 185-188 ℃ (酢酸エチルから再結晶)。
^{1}H NMR (DMSO-d_6) δ2.41-2.51 (6H, m), 2.75 (2H, t, J=7.5 Hz), 4.34 (2H, d, J=5.8 Hz), 5.14 (2H, s), 6.94 (2H, d, J=8.5 Hz), 7.14 (2H, d, J=8.5 Hz), 7.26 (1H, d, J=7.5 Hz), 7.38-7.62 (6H, m), 7.72 (1H, s), 8.41 (1H, t, J=5.8 Hz), 12.06 (2H, br s)。
実施例２００ 3'-[[4-[2-(メトキシカルボニル)エチル]フェノキシ]メチル]-[1,1'-ビフェニル]-3-カルボン酸
4-[(3'-ホルミル-[1,1'-ビフェニル]-3-イル)メトキシ]ベンゼンプロパン酸メチル (0.48 g、1.3 mmol) のテトラヒドロフラン (5 mL) および水 (2 mL) 溶液にスルファミン酸 (0.15 g、1.3 mmol) を加え、さらに亜塩素酸ナトリウム (0.17 g、1.5 mmol) の水 (1.5 mL) 溶液を加えた。混合物を室温で 15 時間撹拌した後に水を加え、酢酸エチルで抽出した。抽出液を水洗した後、減圧濃縮し、表題化合物 0.50 g (定量的) を得た。
融点 180-185 ℃ (酢酸エチル－ヘキサンから再結晶)。
^{1}H NMR ($CDCl_3$) δ2.60 (2H, t, J=7.5 Hz), 2.90 (2H, t, J=7.5 Hz), 3.66 (3H, s), 5.10 (2H, s), 6.93 (2H, d, J=8.5 Hz), 7.12 (2H, d, J=8.5 Hz), 7.42-7.54 (3H, m), 7.59 (1H, d, J=7.0 Hz), 7.69 (1H, s), 7.79 (1H, d, J=7.8 Hz), 8.04 (1H, d, J=7.8 Hz), 8.32 (1H, s)。